

2015年3月期 第3四半期決算の概要

1 契約の状況	1 ページ	4 資産運用の状況	6 ページ
2 損益の状況	4 ページ	5 基礎利益の状況	8 ページ
3 資産・負債の状況	5 ページ	6 健全性の状況	9 ページ

株式会社 かんぽ生命保険
2015年2月10日

※1 データは、いずれも単体ベースのものです。
※2 金額表示は、特に指定のあるものを除き、切り捨てています。
※3 本資料は、一般公衆への情報提供を目的とするものであり、当社の株式その他の有価証券の勧誘を構成するものではありません。

1 契約の状況①

- 個人保険の新契約は、179.5万件、金額5兆2,487億円
- 個人年金保険の新契約は、11.0万件、金額3,931億円

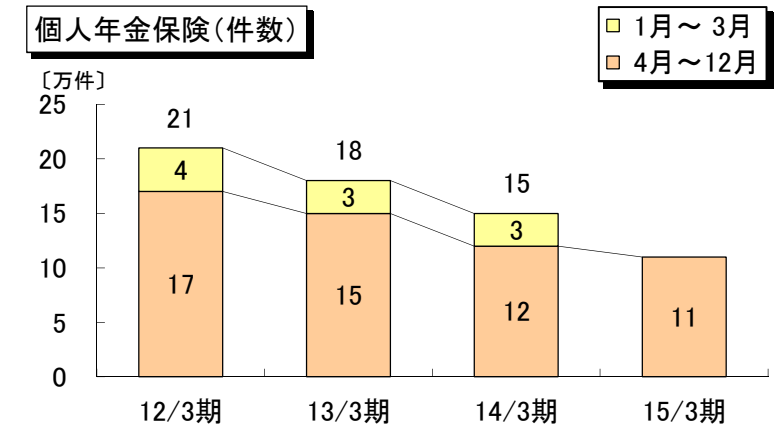
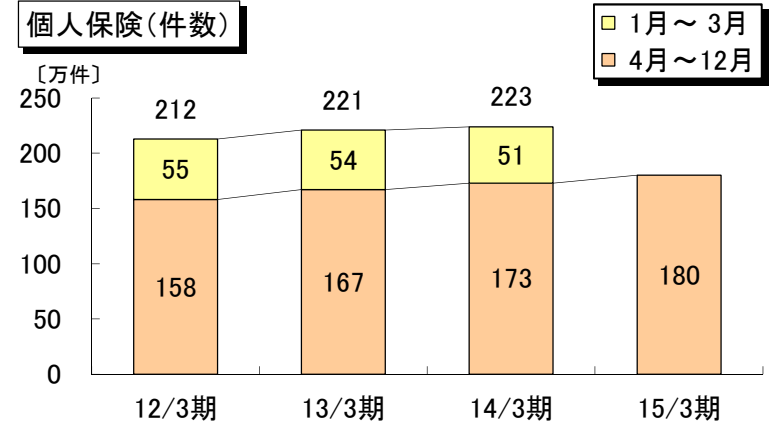
< 新契約の内訳 >

[単位未満四捨五入]

	2015/3期 第3四半期		2014/3期 第3四半期	
	件数	金額	件数	金額
個人保険	179.5 万件	5 兆 2,487 億円	172.6 万件	5 兆 392 億円
終身	43.6 万件	1 兆 5,041 億円	50.5 万件	1 兆 6,712 億円
養老	85.2 万件	2 兆 6,828 億円	107.8 万件	3 兆 2,139 億円
学資	50.6 万件	1 兆 597 億円	14.3 万件	1,530 億円
個人年金保険	11.0 万件	3,931 億円	12.0 万件	4,252 億円

- ※1 主な項目について掲載しております。
- ※2 個人保険の金額は、死亡時の支払保険金額等です。
- ※3 個人年金保険の金額は、年金支払開始時における年金原資です。
- ※4 2015/3期 第3四半期の「学資」欄は、2014年4月に発売した学資保険(はじめのかんぽ)を計上しております。

< 新契約の推移 >



1 契約の状況②

- かんぽ生命の保有契約は、個人保険1,309万件、金額37兆8千億円、個人年金保険129万件、金額3兆6千億円
- 個人保険と簡易生命保険契約の保険を合計した保有契約は、3,383万件

< かんぽ生命の保有契約の内訳 >

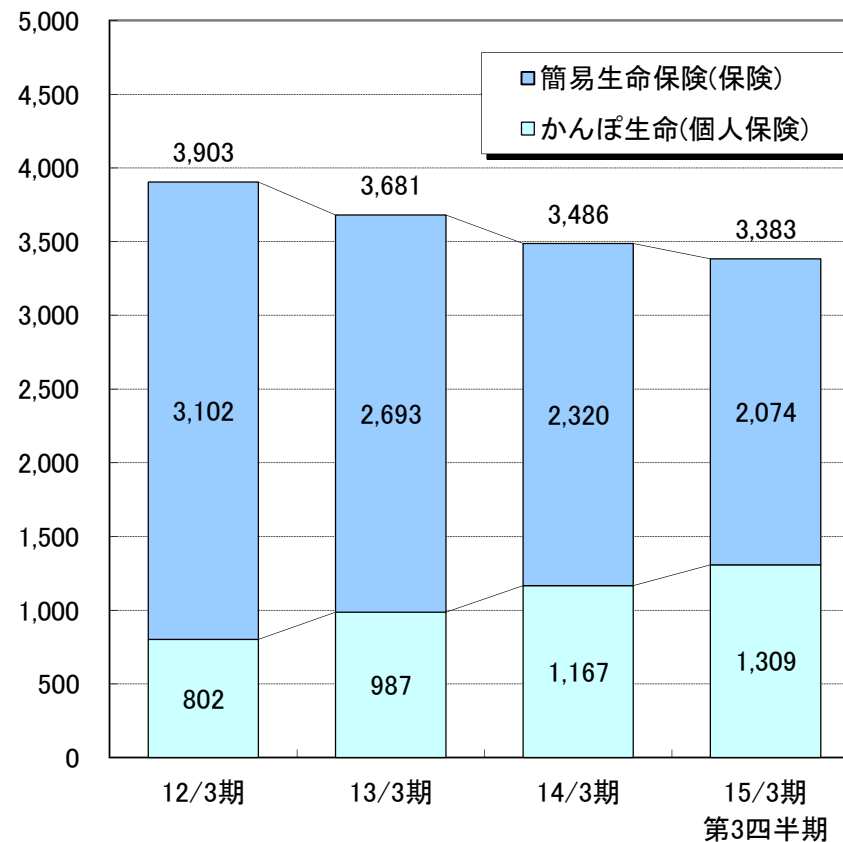
[単位未満四捨五入]

	2015/3期 第3四半期		2014/3期 期末	
	件数	金額	件数	金額
個人保険	1,309 万件	37 兆 8,288 億円	1,167 万件	33 兆 7,357 億円
終身	313 万件	10 兆 3,202 億円	278 万件	9 兆 1,338 億円
養老	816 万件	24 兆 5,164 億円	756 万件	22 兆 7,364 億円
学資	179 万件	2 兆 9,748 億円	132 万件	1 兆 8,485 億円
個人年金保険	129 万件	3 兆 5,997 億円	119 万件	3 兆 4,439 億円

- ※1 主な項目について掲載しております。
 ※2 個人保険の金額は、死亡時の支払保険金額等です。
 ※3 個人年金保険の金額は、年金支払開始前契約の年金支払開始時における年金原資と年金支払開始後契約の責任準備金額を合計したものです。

< 保有契約の推移 >

[万件]



1 契約の状況③

- 新契約の年換算保険料は、個人保険3,449億円、個人年金保険1,339億円
- 保有契約の年換算保険料は、個人保険2兆4,486億円、個人年金保険6,688億円

< 年換算保険料の内訳 >

≪新契約≫

〔単位未満四捨五入〕

	2015/3期 第3四半期	2014/3期 第3四半期
個人保険	3,449 億円	3,388 億円
個人年金保険	1,339 億円	1,470 億円

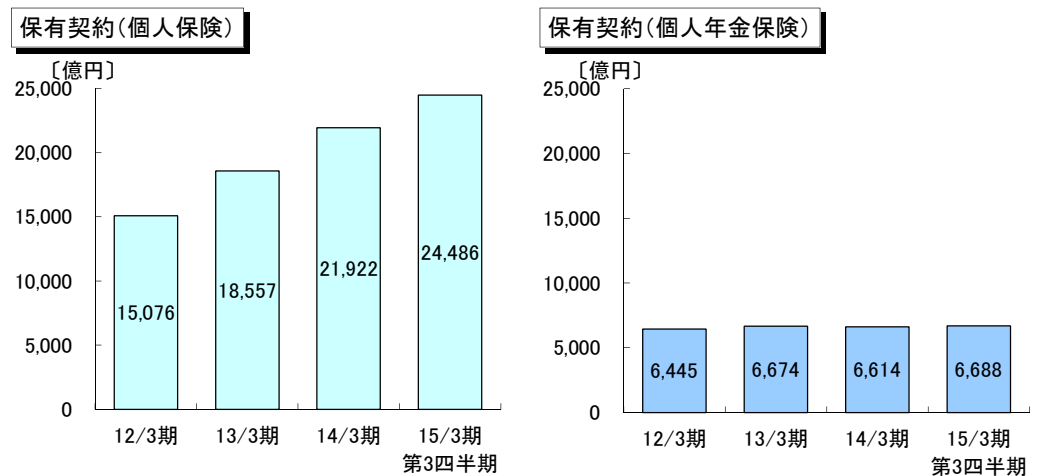
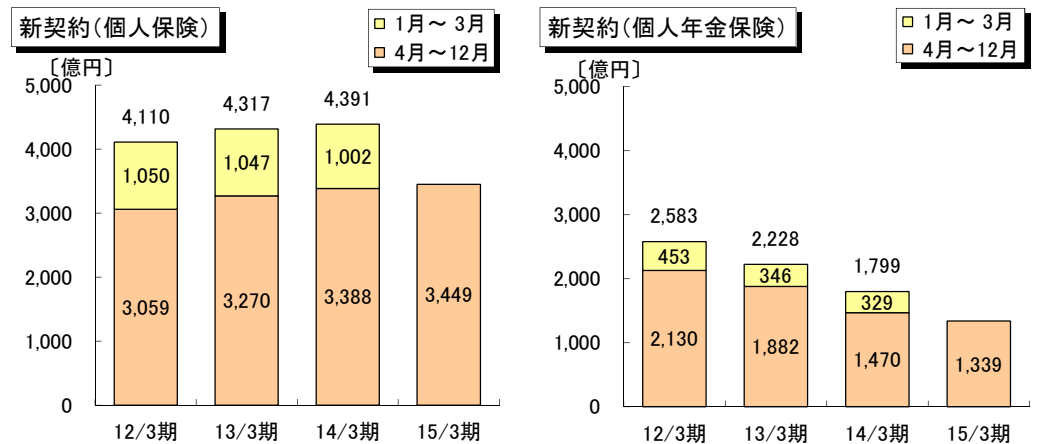
≪保有契約≫

〔単位未満四捨五入〕

	2015/3期 第3四半期	2014/3期 期末
個人保険	2 兆 4,486 億円	2 兆 1,922 億円
個人年金保険	6,688 億円	6,614 億円

- ※1 年換算保険料とは、1回あたりの保険料について保険料の支払方法に応じた係数を乗じ、1年あたりの保険料に換算した金額です（一時払契約等は、保険料を保険期間等で除した金額）。
- ※2 保有契約はかんぽ生命の保有契約であり、簡易生命保険契約は含んでおりません。

< 年換算保険料の推移 >



2 損益の状況

■ 経常利益は3,777億円、四半期純利益は737億円

< 損益計算書の概要 >

	2015/3期 第3四半期	2014/3期 第3四半期	増減	2014/3期
経常収益	77,233	84,016	△ 6,782	112,339
保険料等収入	44,879	45,149	△ 269	59,116
資産運用収益 (注1)	11,054	11,551	△ 497	15,406
責任準備金戻入額	19,907	25,143	△ 5,235	36,564
経常費用	73,456	80,725	△ 7,268	107,704
保険金等支払金	68,846	76,170	△ 7,323	101,608
資産運用費用 (注2)	93	164	△ 70	181
事業費	3,795	3,778	17	5,130
経常利益	3,777	3,290	486	4,635
特別損益 (注3)	△ 788	△ 673	△ 115	△ 999
契約者配当準備金繰入額	1,923	1,865	57	2,421
税引前四半期純利益	1,065	751	313	1,213
法人税等合計	328	338	△ 9	579
四半期純利益	737	413	323	634

[単位:億円]

※ 主な科目について掲載しております。

注1 資産運用収益は、利息及び配当金等収入
1兆326億円、有価証券売却益 511億円等です。

注2 資産運用費用は、有価証券売却損 49億円
等です。

注3 特別損益は、価格変動準備金繰入額
787億円等です。

3 資産・負債の状況

■ 総資産は85兆円、純資産は1.8兆円

< 貸借対照表の概要 >

	2015/3期 第3四半期	2014/3期 期末	増減
資産	850,126	870,886	△ 20,759
現金及び預貯金	12,295	16,635	△ 4,339
金銭の信託	13,317	5,816	7,500
有価証券	673,083	693,789	△ 20,705
国債	490,723	525,229	△ 34,505
地方債	95,352	91,737	3,614
社債	66,931	64,418	2,513
外国証券	20,065	12,394	7,671
貸付金 (注1)	104,820	110,205	△ 5,385
繰延税金資産	5,823	5,926	△ 103
負債及び純資産	850,126	870,886	△ 20,759
負債	831,260	855,541	△ 24,281
保険契約準備金 (注2)	785,958	807,999	△ 22,040
価格変動準備金	6,929	6,142	787
純資産	18,866	15,344	3,521
株主資本合計 (注3)	14,030	13,496	533
評価・換算差額等合計	4,835	1,847	2,987

[単位: 億円]

※ 主な科目について掲載しております。

注1 貸付金の内訳は、機構貸付 9兆6,165億円、一般貸付 7,973億円、保険約款貸付 681億円です。

注2 保険契約準備金の内訳は、責任準備金 75兆7,547億円、支払備金 6,958億円、契約者配当準備金 2兆1,453億円です。

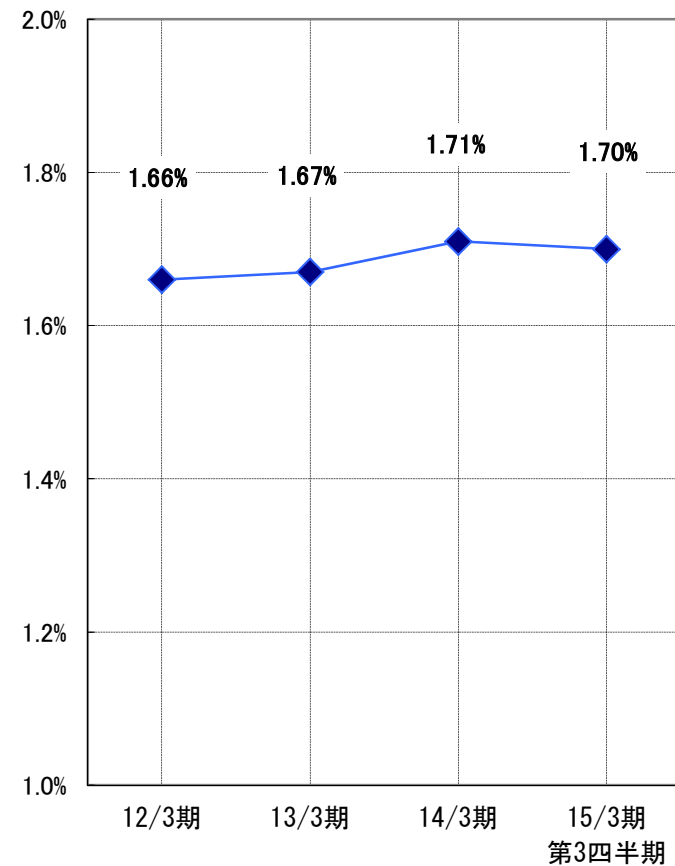
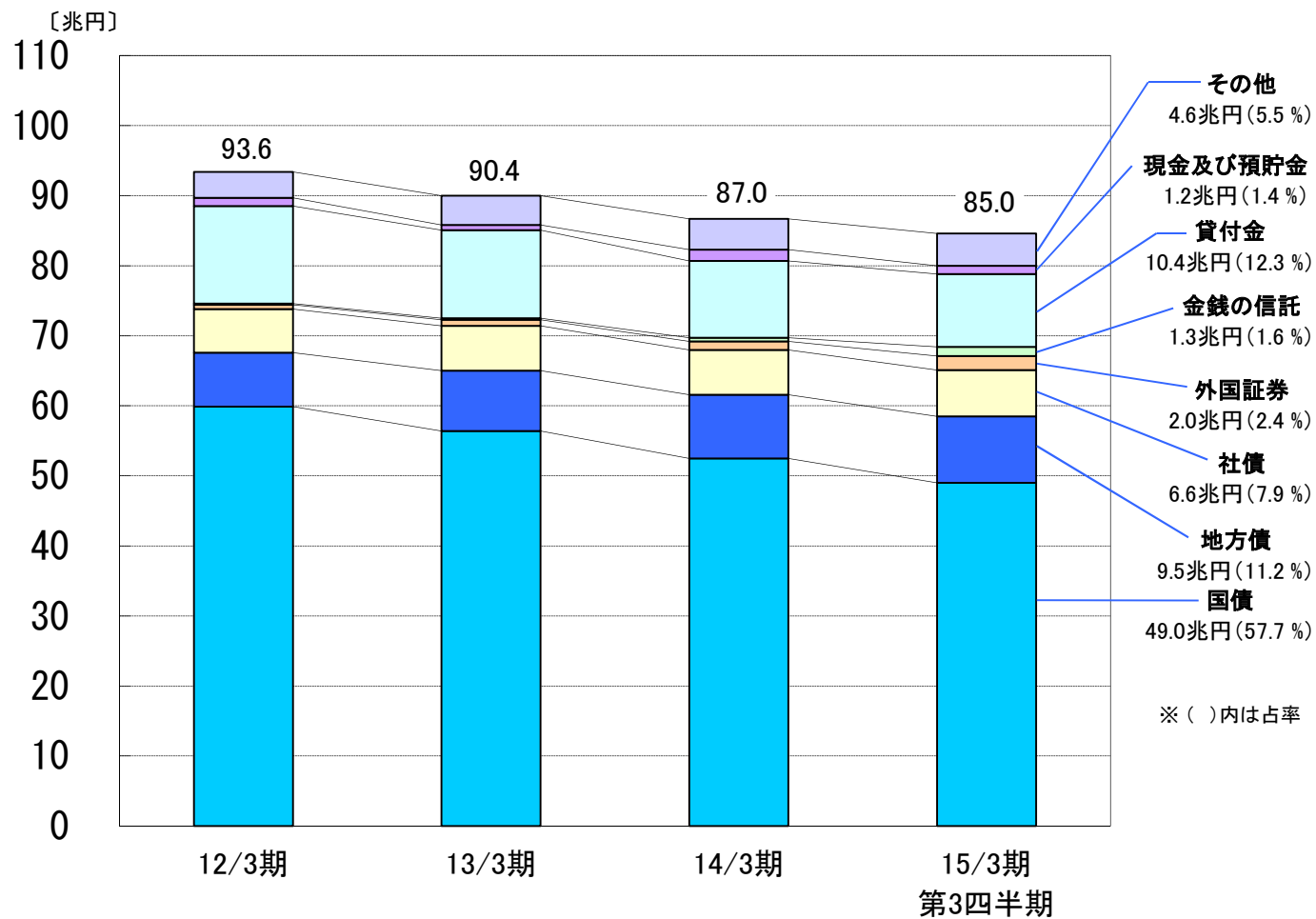
注3 株主資本合計 533億円の増加は、退職給付会計基準の改正に伴う期首残高の取崩し 35億円、株主配当金の支払い 168億円、四半期純利益の計上 737億円によるものです。

4 資産運用の状況①

■ 資産運用は、国債を中心とした有価証券が67兆円、貸付金が10兆円等

< 資産構成の推移 >

< 運用利回りの推移 >



※ 運用利回りは、キャピタル損益等を含めた利回りです。

4 資産運用の状況②

- 満期保有目的の債券及び責任準備金対応債券を含めた有価証券全体の含み益は、7兆487億円
- その他有価証券の含み益は、6,960億円（税効果適用後は4,835億円）

< 含み損益の状況 >

	2015/3期 第3四半期		2014/3期 期末	
	帳簿価額	含み損益	帳簿価額	含み損益
合計	69兆2,588億円	7兆487億円	70兆5,058億円	4兆5,344億円
満期保有目的の債券	44兆2,324億円	5兆336億円	45兆2,573億円	3兆1,697億円
責任準備金対応債券	15兆8,886億円	1兆3,190億円	17兆9,536億円	1兆991億円
その他有価証券	9兆1,377億円	6,960億円	7兆2,948億円	2,655億円
うち 金銭の信託	1兆688億円	2,629億円	4,990億円	825億円

※ その他有価証券の含み損益は、税効果適用前の金額です。税効果適用後の含み損益は、4,835億円(2015/3期 第3四半期)、1,847億円(2014/3期 期末)です。

< 金銭の信託で保有する国内株式の含み損益がゼロになる株価水準 >

	日経平均株価
2015/3期 第3四半期	13,700円
2014/3期 期末	12,000円
2013/3期 期末	9,800円
2012/3期 期末	9,900円

※ 金銭の信託で保有する国内株式の含み損益がゼロになる株価水準は、決算期末日に保有する株式の時価が日経平均に連動して変化するものとして算出しています（100円未満を切り捨てています）。

< 参考指標 >

	日経平均 株価	円ドル	円ユーロ	円金利 (10年国債)
2014年12月末	17,450円	120.55円	146.54円	0.330%
2014年3月末	14,827円	102.92円	141.65円	0.640%
2013年3月末	12,397円	94.05円	120.73円	0.560%
2012年3月末	10,083円	82.19円	109.80円	0.985%

※ データ提供元：野村総合研究所、Bloomberg、©日本経済新聞社

5 基礎利益の状況

- 危険差益及び順ざやの拡大により、基礎利益は3,892億円

< 基礎利益の内訳（三利源） >

	2015/3期 第3四半期	2014/3期 第3四半期	増減	2014/3期
基礎利益	3,892 億円	3,526 億円	365 億円	4,820 億円
危険差益	2,628 億円	2,115 億円	512 億円	2,904 億円
費差益	824 億円	1,083 億円	△ 259 億円	1,373 億円
利差益	439 億円	327 億円	111 億円	542 億円

※ 基礎利益は、経常利益から有価証券の売却損益等の「キャピタル損益」と危険準備金の繰入・戻入等の「臨時損益」を控除したものです。また、基礎利益の内訳は内部管理上算定しているもので、「危険差益」は予定死亡率と実際の死亡率との差等から生じる利益（法令により積み立てるべき標準責任準備金の積増額を含みます。）、「費差益」は予定事業費と実際の事業費等との差による利益、「利差益」は実際の運用利回り（利子利回り）が平均予定利率を上回ることにより生じる利益です。

<（参考）基礎利益上の平均予定利率 >

	2015/3期 第3四半期	2014/3期 第3四半期	増減	2014/3期
平均予定利率	1.81 %	1.84 %	△ 0.04 %	1.84 %
利子利回り	1.88 %	1.90 %	△ 0.02 %	1.91 %

※ 1 平均予定利率は、予定利息の経過責任準備金に対する利回りのことです。

経過責任準備金は、危険準備金を除いた責任準備金により次の式で計算しています。（期始責任準備金＋期末責任準備金－予定利息）× 1 / 2

※ 2 利子利回りは、基礎利益上の運用収支（キャピタル損益を含まない運用収支）等の経過責任準備金に対する利回りのことです。

6 健全性の状況

- 負債として積み立てた内部留保は、危険準備金2兆5,211億円及び価格変動準備金6,929億円を合わせた3兆2,140億円
- 追加責任準備金は、6兆867億円

< 内部留保の積立状況 >

	2015/3期 第3四半期	2014/3期 期末
危険準備金	2兆5,211億円	2兆5,887億円
価格変動準備金	6,929億円	6,142億円
内部留保合計	3兆2,140億円	3兆2,030億円

< 追加責任準備金の積立状況 >

	2015/3期 第3四半期	2014/3期 期末
	6兆867億円	6兆1,353億円

※ 追加責任準備金には、独立行政法人郵便貯金・簡易生命保険管理機構からの受再保険の終身年金等を対象に、2011年3月期より10年間にわたり新たに追加して積み立てることとした金額（2015/3期 第3四半期積立額 1,325億円、累計 8,065億円）を含みます。

< ソルベンシー・マージン比率 >

	2015/3期 第3四半期	2014/3期 期末
	1,648.7%	1,623.4%

※ ソルベンシー・マージン比率の2015/3期 第3四半期の値は、法令等の規定に準じて算出しております。

< 実質純資産額 >

	2015/3期 第3四半期	2014/3期 期末
	12兆520億円	9兆4,422億円

※ 実質純資産額は、有価証券の含み損益等を反映し時価評価した資産の額から、危険準備金や価格変動準備金等を除いた負債の額を差し引いたものです。